

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	山本 良一	電 話	483-1151 内線3561
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4096		事務事業名称	農業の郷整備事業					短縮コード	経常		臨時	4096
予算区分	会計	01	一般会計	款	06	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		農業経営基盤強化促進法、都市再生特別措置法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
農業を中心とした地場産業の振興及び都市と農村の交流の場づくりを目的とし、平成5年にやちよふれあいの農業の郷構想が策定された。 平成15年度に島田地区の水田再基盤整備が県営事業として事業化された事に併せ、郷構想の見直しを行った。 その後、平成22年度にまちづくり交付金事業として採択されたことにより、工事が開始された。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	05	産業活力都市をめざして						
平成22年度より、まちづくり交付金は社会資本整備総合交付金に統合され、社会資本整備総合交付金の基幹事業（市街地整備分野）に「都市再生整備計画事業」として位置づけられている。今後も、国の施策に注視する。					大項目（節）	01	農業						
					中 項 目	01	農業						
					小項目（施策）	06	市民とふれあう農業の推進						
					細 項 目	02	市民と農家との交流						
実施計画の計画事業	5102	やちよふれあいの農業の郷整備事業											
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成27年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	住民（農家，都市住民），観光者							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： ふれあいの農業の郷用地取得（千葉県地方土地開発公社）、市道島田台・平戸線道路改良工事、ふれあいの農業の郷実施設計							
	※平成23年度に計画していること： 市道島田台・平戸線、桑納4号線道路改良工事、ふれあいの農業の郷（観光交流センター）建築工事							
意図 （何を狙っているのか）	農家や農業地域にとって、農業や農村空間を利用した都市住民との交流、農産物や農産加工品の販路の開拓・確保、農産加工・販売など農業経営の安定、地場産業の情報発信が目的となり、都市住民にとって、体験型観光、ゆとりある休暇、新鮮でおいしい農産物が目的となる。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	住民数	人	192, 570	194, 000	193, 274	196, 400	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	施設整備計画面積	m ²	13, 431	13, 431	12, 536	12, 536	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	施設整備完了面積	m ²	0	0	0	0	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4096	事務事業名称	農業の郷整備事業				所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			平成22年度に交付金事業が採択され、施設整備が進んでいるので計画に基づき事業の進捗を図る。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			施設整備の他に、管理運営について引き続き検討が必要		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	☐	☐	☐			
		不 変	☐	☒	☐			
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
市民や議会から、計画の中に含まれている本計画地である島田側と既存のふるさとステーションを結ぶ橋が不要ではないかとの意見がある。									

所属長コメント	・都市と農村の交流の場づくりを整備することにより、今後の八千代市の農業の活性化を図るため、事業を推進していく。 ・農業の郷整備事業は、国からの交付金を受け、平成２２年度から平成２６年度の５年間の事業期間で整備を行う。 ・財政的負担軽減のため、引き続き財源確保について調査していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									